

2018 年度日本建築学会大会(東北)  
特別研究部門  
研究懇談会資料集

**人為的要因による震災の防止・軽減に向けた  
技術・社会のあり方について**

2018年9月

**日 本 建 築 学 会**

**人為的要因による震災の防止に向けた  
技術・社会に関する特別研究委員会**

8  
))  
18

## 目次

### ◆ 主旨説明

- 富樫豊 : 問題の所在と解決に向けて . . . . . 01

### ◆ 主題解説論文 (委員、7編)

- 浜田英明 : 構造設計の視点から震災被害の人為的要因について考える . . . . . 03  
佐久間博 : 住宅建設の現場から見えてくること . . . . . 09  
高村秀紀 : 温熱環境の側面から見た人為的要因による災害時の被害 . . . . . 11  
宮本照嗣 : 未曾有の大災害を目前に、我々は何をなすべきか . . . . . 13  
熊澤栄二 : 新・買い物支援システムの実装とその可能性 . . . . . 19  
木俣信行 : 建築物を地域社会の価値ある資産にする . . . . . 25  
外岡豊 : 真の持続可能社会に向けて——必要条件としての災害被害最小化 . . . . . 29

### ◆ 論文 (委員、5編)

#### 専門家、実務者、設計者

- 藤井俊二 : 過去の震災の教訓を生かして専門家の取るべき対応 . . . . . 37  
富樫豊 : 実務者や行政者の防災技術対応への思い . . . . . 43  
藤田大輔 : 保育施設の計画・運営における震災の防止に関わるキーワード . . . . . 45

#### 住まいづくり、街づくり、都市整備

- 高木真人 : 観光都市・京都における震災の軽減と避難 . . . . . 47  
棒田恵 : 現代の住まいの在り方を考える . . . . . 51

### ◆ 寄稿論文 (協力者、13編)

#### 設計、歴史建築

- 小林勉 : 中越地震に耐えた旅館設計の事例・「設計に工夫をした蓬平温泉よもやま館」  
. . . . . 53  
永井康雄 : 歴史的建築にみられる被害の事例と要因 . . . . . 55

#### 地形・地盤・建築

- 橋本隆雄 : 山間部の大規模土地造成の安全性についての考察 . . . . . 59  
村田昌 : 地盤特性に起因する低層建物被害について . . . . . 63  
池本敏和 : 2016年熊本地震における建物被害調査に関する雑感 . . . . . 65

#### 技術・社会

- 岡田成幸 : 災害は技術的安全と社会的便益のトレードオフの結果である . . . . . 69  
神田順 : 人為的災害要因としての法規制 . . . . . 71  
増渕昌利 : 建築基準法に基づく完了検査全数実施と課題 . . . . . 75

#### 災害

- 今村友里子 : 戦災慰霊碑のデザイナー——イサム・ノグチの広島平和記念公園—— . . . . . 81  
宮島昌克 : 天災と人災——海外地震被害調査を通して—— . . . . . 83  
室崎益輝 : 阪神・淡路大震災で、なぜ6400人もの命が奪われたのか? . . . . . 85  
加藤博和・大野悠貴 : 自然災害に伴う生命・健康・生活へのダメージの余命指標を用いた評価 . . . . . 87

#### ジャーナリズム

- 大森雅弥 : 災害報道、上から伝えるか? 下から伝えるか? . . . . . 89